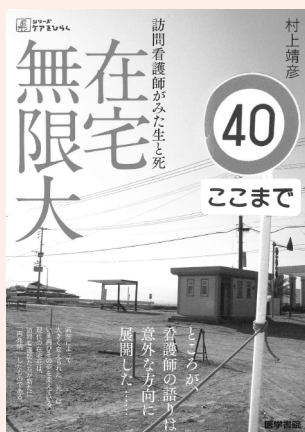


今月の

5冊



《シリーズ ケアをひらく》 在宅無限大 訪問看護師がみた生と死

村上靖彦＝著
本体2000円＋税
医学書院 ☎03-3817-5600

現在の在宅死は、かつてあった看取りの文化を復活させたものではない。「先端医療が組み込まれた家」という未曾有の環境のなかで、訪問看護師たちが地道に「再発明」したものである。著者は並外れた知的肺活量で、訪問看護師の語りを生け捕りにし、看護が本来持っているポテンシャルを言語化する。「看護がここにある」と確かに思える1冊。

脱・しくじりプレゼン

言いたいことを言うとはわらない！

八幡紘声＝編著
竹本文美、田中雅美、福内史子＝著
本体2600円＋税
医学書院 ☎03-3817-5600



プレゼンで犯しやすい41の失敗事例をマンガで紹介し、失敗の原因や対策、どうすれば効果的かつ効率的に自分の意見や考えを伝えることができるか、セオリーとテクニックをプレゼンの専門家が解説。「戦略(聞き手分析、環境分析)」「シナリオ構築」「デリバリー(伝える)」を基本にしたしくじらない「極意」で納得のプレゼンを。

いのちの値段

医療と費用を巡る50の物語

読売新聞医療部＝著
本体1300円＋税
講談社 ☎03-5395-5817

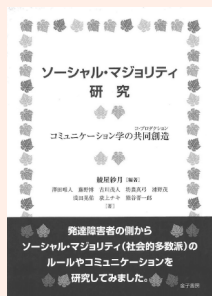


読売新聞の長期特集の書籍化。いのちに値段はつけられない。しかし、現実には患者の受けられる治療と生きるための費用を巡る問題に、現代社会のゆがみと格差が現れる。高額新薬オプジーボのジレンマ、人工透析、認知症、看取り、老後の備え、ゆらぐ現役世代など、いのちの値段にまつわる切ないがあったかい50の物語。

ソーシャル・マジョリティ研究

コミュニケーション学の共同創造

綾屋紗月＝編著
澤田唯人、藤野博、坊農真弓、浦野茂、浅田晃佑、荻上チキ、熊谷晋一郎＝著
本体3000円＋税
金子書房 ☎03-3941-0111



ソーシャル・マジョリティ研究とは、社会的少数派からみた社会的多数派の研究。本書は、社会的多数派がつくりあげている暗黙の社会的ルールやコミュニケーションを、発達障害の当事者と多分野の学術研究者が解き明かす「学際的な研究書」。同時に、コミュニケーションの困りごとを抱える成人の発達障害者の「支援ツール」でもある。

ナイチンゲール 神話と真実

新版

ヒュー・スモール＝著
田中京子＝訳
川島ひとり＝解説
本体3600円＋税
みすず書房 ☎03-3814-0131



ナイチンゲールはクリミア戦争終結の翌年、1万6000人もの兵士の死に対する責任を追及した王位委員会の終了直後から約10年間、病床にあって人前に出ていなかった。それはなぜなのか？ その謎を追った初版から18年。日本語版新版では、新たに公開された書簡や議会記録をもとに得られた結論を加筆した。